学校番号	T3010

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	計画実技	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常の（特に住空間）身の回りにあるものが、どのように製品開発されているかを調べ、自らデザイン・企画立案するための技術習得・技術向上を目指す。日本や海外のインテリアデザイナーやインテリアデザインについて知り、知識を深めます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・いろいろな資料を見て、色彩計画やデザイン・家具のレイアウト、快適な空間の演出等に関する知識や技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
・空間の色彩計画、家具のデザインや素材、窓の配置や照明などについて思考を重ね、より良い空間ができるよう判断し、模型等で表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】
・インテリアデザインに関する理解や、模型製作等意欲的に取り組んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プロジェクターや資料で提示されたインテリアデザインの実例から、色彩計画・デザイン・家具のレイアウトや寸法などについて理解している。	空間の色彩計画、家具のデザインや素材などについて、使用の目的、人に合わせたプランを考え、模型や学習プリントで表現することが出来る。	インテリア計画・インテリアデザインに関する理解を深め、立体にして表現する技術を向上させ、模型製作に意欲的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	インテリア計画 インテリアの造形・動作空間	・実例を見て、模型製作に向けた素材を集める。空間のコンセプト・色彩の計画を考える。 ・模型作成の手順や、エレメントの製作について知識や技能を身につける。住空間においての動線や全体のバランス、形態やレイアウトを考え、プランを作成する。	a: 材質に着目し、快適な空間づくりについて知識を深める。 インテリア計画に関する基本的な知識を身につけている。 b: プランニングしながら、実際の配置や動線などを考え、空間づくりについて考察する。 c: カタログや資料を集め、プランを具体化する態度がある。	提出物 授業態度 プリント 模型	提出物 授業態度 プリント 模型	提出物 授業態度 プリント 模型
二学期	形態の概念・分類 インテリアと人間工学	・室内を構成する多くの要素の 形態・色彩・テクスチャーについての知識を身につける。製作する空間の機能と形態・色彩計画プランを用紙にまとめ、家具や照明器具の製作を行う。 ・建具・家具・配置と動線・テクスチャーについての知識を身につけ、人間工学に基づいたインテリア計画を行い、模型の製作を行う。	a:空間がどのように構成されているか映像から学び、知識を身につけることが出来ている。 b: 窓の配置・照明の計画・家具の配置や形状・色彩計画について考え、コンセプトとして表現している。 c:空間を使用する目的や、コンセプトを決定し、プラン用紙にまとめる姿勢がある意欲的に模型の製作を行っている。	提出物 授業態度 プリント 模型	提出物 授業態度 プリント 模型	提出物 授業態度 プリント 模型
三学期	各種空間の計画	住宅の種類・空間の種類について理解し、それぞれの特徴に合わせた模型の製作を行う。	a:デザインの機能性や役割、重要性を理解する。 b:日常の空間をもう一度見て、触れて材質などを検討する。 c:住宅の種類や空間の種類、違いについて理解し模型製作に取り組んでいる。	提出物 授業態度 プリント 模型	提出物 授業態度 プリント 模型	提出物 授業態度 プリント 模型

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度